

令和 2 年 8 月 26 日



## 市内中小企業が行う海外での販路開拓を支援します！！

～令和 2 年度「北九州市中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業」の採択テーマ決定～

アジア低炭素化センターは、市内中小企業を対象に、海外での販路開拓につながる実証試験等に要する費用の一部を助成する「北九州市中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業」の採択テーマを決定いたしましたので、お知らせします。

この事業は、市内中小企業が所有する技術・製品の、海外でのニーズに合わせた現地での実証試験や、海外展開のビジネスモデル構築のためのFS（事業可能性調査）を支援することで、価格競争力・資金力・ブランド競争力を補い、海外での販路拡大を支援するものです。

さらに、今年度は従来枠に加えて「SDGs 推進」「海洋プラスチック削減」対象の特別枠も新設しています。

4月6日（月）から6月30日（火）まで募集を行いました。審査の結果、従来枠3件（FS 2件、実証1件）、特別枠2件（FS 2件）の採択を決定したものです。

### 【お問い合わせ先】

北九州市環境局環境国際戦略課 アジア低炭素化センター

担当課長：村上、担当係長：大谷（TEL：093-662-4020）

## 令和2年度北九州市中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業

## 採択テーマ

従来 特別	FS/ 実証	テーマ名	企業名	事業概要
従来	FS	気候変動に深刻な影響を及ぼすタイ国の森林火災に対応する低環境負荷型石けん系消火剤のFS調査	シャボン玉石けん株式会社	タイでは大規模な森林火災が発生しており、森林に貯蔵されている多くの炭素が放出されるだけでなく、PM2.5による健康被害等が問題となっている。環境にやさしい石けん系消火剤を用いた消火技術を現地に適応できれば、タイにおける温室効果ガス発生を抑制するとともに、大気汚染の防止に貢献できる。本事業では、石けん系消火剤のニーズや販路に関する調査を行う。
従来	FS	海洋ごみを直接処理し燃料油・炭に再生資源化する油化炭化装置	株式会社ワンワールド	過熱水蒸気を用いた無酸素熱分解方式による、廃棄物の資源化装置「アーバンリグ」を用いた、海ごみの資源化(油化・炭化)事業。本技術は最大700℃の過熱水蒸気を用いることにより、従来の焼却炉、油化装置や炭化装置ではリサイクル困難とされる海ごみを、塩分・水分・汚れの除去や分別を必要とせず、一工程でボイラー、発電機、船舶等の燃料として利用できる再生資源として回収し、処理物由来の二酸化炭素を排出しません。
従来	実証	インドネシアの都市廃棄物を活用した国営肥料会社との堆肥化実証事業	株式会社ビートルエンジニアリング	同国の全国的な土壌劣化の問題に対し、有機農業を推進する国営肥料会社から当社が指名を受け、廃棄物処理業・生ごみ資源化においてこれまで培ったノウハウを活用し、インドネシア共和国バリクパパン市で生ごみ堆肥化事業を実証し、現地の課題解決に取り組む。本事業では、既存の市営堆肥化施設を改良して日量10トンの生ごみを受入れ堆肥生産を開始し、高付加価値肥料としての製品開発及び販売を進めるもの。
特別	FS	マレーシア国における安全な野菜の安定確保と栄養状態の改善に資するサプライチェーン構築のための調査事業	株式会社ウエルクリエイト	マレーシア国最大の野菜産地であるキャメロンハイランドにおいて、有機肥料を活用した安全な野菜を安定確保、日本の高度な品質管理と安全の品質保証をする工場パッケージカット野菜を生産、冷蔵・冷凍ロジスティックと販売までの一貫したサプライチェーンを構築することをゴールに見据えたFS調査を実施する。これにより急激に肥満度が増加したマレーシアの人たちの栄養状態の改善と健康増進に資する事業を目指す。
特別	FS	産業廃棄物のセメント代替原料・燃料化事業のインドネシア展開可能性調査	アマタ株式会社	製造業から発生する多様な産業廃棄物を原料として、独自技術である混合技術を用いて、セメント工場向けの代替原料・燃料を製造するリサイクル事業をインドネシアにて展開させるための実現可能性調査を実施する。調査の主目的は、B3(有害)廃棄物の発生状況・処理関連市況、現地セメント会社の廃棄物利用状況の把握及び、現地パートナー候補企業の抽出・アプローチであり、調査を通してビジネス仮設立案及び事業性を検証する。

